

第2学年「音楽」学習指導案

授業者 町田 直樹

2月21日（土） 4階アセンブリ 10:00～10:40（話し合い11:00～11:45）

1 題材名 息をあわせて

2 題材について

この学年の子どもたちは、2年生でのクラス替えは行わず、関係性も入学当初から続いてきている。私自身は、本年度からの関わりとなっている。音楽の時間では、要項に記したとおり、低学年で大切にしていることがある。昨年度から引き続き低学年では、からだを意識した活動を継続している。

この学年の子どもたちは、とても元気で、個人のパワーを感じる場面が多い。一方で、個が強い分他者への意識が薄いと感ずることもある。そのような中で、音楽の時間では、聴くという事を意識した活動を積極的に取り入れてきた。友だちの歌声やリズムあそびで出る音などに耳をかたむけ、自分なりの感じ方で向き合ってほしいと願うと同時に、そのようなからだになってほしい。低学年の頃から聞くからだを意識してカリキュラムを設けることで、高学年での音楽のひろがりや深まりが期待できるからである。

1年生の頃は、トーンチャイムの音に耳をかたむける活動や、まわりの音に着目した活動などを適宜取り入れてきたと聞いている。2年生のこの時期は、自分のからだから出る音（ボディーパーカッションなど）や偶然の音を意識したリズムあそびを楽しんでいる。リズムの重なりや音の重なりを聴ける環境の中で、様々な聴き方を学んでいってほしいと思う。

本題材では、今まで経験したリズムあそびを活かして、リズムと音の重なりを意識してほしいと願う。音の重なりを感じ、聴くことから、様々な気づきに期待したい。もう一つは、からだまるごとで、拍を意識してほしいと願っている。また、手あそびやわらべうたあそびを通して音楽的要素も育てていけたらと考える。友だちと息をあわせ、自分の拍を感じることと、相手の拍を感じることが出来ればと思っている。低学年最後の音楽の活動。3年生では様々な楽器との出会いも待っている。より広がった音楽活動につながっていくことを見据えた学びを深めていきたい。

3 学習指導計画（3学期：12時間目／全16時間）

【常時活動】	自分で選んだ曲を歌う・リズムあそびやハンドサイン・わらべうたあそび
【適宜扱う】	聴くことを意識した活動・オスティナートを付けて歌う・音符とことば 他

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

・仲間とともに、楽しみながら音楽活動に参加する。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
○自分で選んだ曲をみんなで歌う（1グループ4人） ・リズムに乗る ・元気よく歌う ・好きだな、嫌いだな ・本をよく見る（指でなぞる） ○リズムあそび（リズムカード・カノン・早口言葉など） ・まねをしてみる ・よく見る ・友だちのまねをする ・リズムに言葉をのせてあそぶ ・むずかしいな ○リズムを重ねてあそぶ・聴く ・おもしろいな ・合わない ・息があう ○わらべうたあそび ・うまくいった ・ルールを守る（やぶる） ・教え合う ・もめる ○あそびをふりかえる ・○○のように聞こえた ・もっとこうしてみよう	安心して心地よい空間 姿勢や言葉（歌詞など）を意識させる まねをすることも大切である 子どもの表情 既習のあそびの中から選択させる。または、こちらから提示する。 グループの様子 子どもの考えをつなぐ

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

・本音で語る小学校音楽科のあるべき姿について。